

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日  
平成 29 年 4 月 5 日

事務事業名		桜川市土地改良区総代総選挙執行事務				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続		事務事業No. 099809000940	
総合計画の施策名		0998 選挙関係				単独/補助		補助	
政策名		09 政策外事業				主要事業		対象外	
施策名		98 選挙関係				市長マニフェスト		対象外	
基本事業名		09 選挙関係				未来PJ事業		対象外	
						合併建設計画事業		対象外	
						事業期間		グループ	
						単年度のみ (平成28年度)		総務課	
						← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		総務グループ	
予算科目		会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
法令根拠		01	02	04	00	00	00		

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像) 桜川市土地改良区に係る総代の任期満了(平成29年2月5日)による総代総選挙である。  ○選挙区及び選挙すべき人数 第1選挙区(旧岩瀬土地改良区) 定数 22人 第2選挙区(旧泉川土地改良区) 定数 5人 第3選挙区(旧大和土地改良区) 定数 13人 第4選挙区(旧真壁町土地改良区) 定数 19人 計59人	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 桜川市土地改良区総代総選挙の執行事務 ・選挙管理委員会開催 ・関係者、関係機関との調整事務 ・事前審査、候補者届出受付 ・結果報告、各支払事務等

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・選挙管理委員会開催 ・事前審査、候補者届出受付	立候補届出日数	日	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00
	投票所数	箇所	0.00	4.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
・桜川市土地改良区総代総選挙の有権者	桜川市土地改良区組合員(有権者)	人	0.00	3,763.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
・選挙事務を正確・迅速に行い、公正な選挙を行うことにより、安心して投票してもらう。	投票率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入	事業費	財源内訳	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	30年度(目標)	31年度(目標)	期間限定総投入量
量	費	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	0
		その他	0	259	0	0	0	0
		一般財源	0	-32	0	0	0	0
	事業費計(A)	0	227	0	0	0	0	
人件費	量	正規職員従事人数	0.00人	2.00人	0.00人	0.00人	0.00人	
		述べ業務時間	0.00	141.00	0.00	0.00	0.00	
		人件費計(B)	0	409	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)			0	636	0	0	0	

事業費の内訳	28年度事業費 実績(千円)		29年度事業費 予算(千円)	
	科目	金額	科目	金額
	01 報酬	203		
	11 需用費	17		
	12 役務費	7		
	合計	227	合計	0

(4) 当該年度の実施内容

29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する  ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業		

事務事業名	桜川市土地改良区総代総選挙執行事務	事務事業No.	99809000940	所属課	総務課
-------	-------------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
 ・平成23年度に旧岩瀬土地改良区・旧泉川土地改良区・旧大和土地改良区・旧真壁町土地改良区が合併し、桜川市土地改良区が発足したため、その総代を選挙で選出するため始まった。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

・特になし。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	選挙関係については、政策体系外業務であるが、適正な選挙執行管理事務を行うことにより、公正な選挙が行われ、市の政策を推進することに結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	法令(公職選挙法)で定められた事務事業であり、委ねることはできない。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	平成25年より土地改良区が一本化し、選挙についても一括して行うことが出来るようになったため、向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	法律で定められた事務であり、廃止・休止はできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	法律で定められた事務であり、統廃合・連携はできない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	選挙経費については、土地改良区に請求しているため、人件費のみの支出となっている。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	有権者に保障された権利であり、受益者負担を求めることは不適切である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨																									
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>